

令和5年度 宗像市男女共同参画推進センター運営委員会議事録

日 時 令和5年7月4日(火)

10:00~11:30

場 所 メイトム宗像103会議室

運営委員会委員(名簿順)

出欠	名前	出欠	名前	出欠	名前	出欠	名前
○	横山 美栄子 委員	○	森 結花 委員	○	木村 直喜 委員	○	塚本 けさ子 委員
○	原田 勝子 委員	○	三好 康之 委員	○	青木 善裕 委員		

事務局:(市男女共同参画推進課:城戸・吉武・加藤、男女共同参画推進センター:梶谷・石井)

1 はじめのあいさつ

男女共同参画推進課長 城戸 正信

○委員、●事務局

2 委嘱状交付

3 委員自己紹介

4 会長・副会長選出

◆会 長: 原田 委員

◆副会長: 木村 委員

5 議事録について

議事録は、要約筆記で作成し、各回、委員より議事録署名人を選任する。議事録署名人は、会長と副会長を除いて名簿順とし、今回は、横山 美栄子委員とする。

6 議事

(1) 令和4年度実施事業の報告(資料1・2)

●(市:センター事業全体について[資料1]) 男女共同参画推進センターは、宗像市の男女共同参画の推進の拠点施設で、啓発講座、法律相談、図書貸出、広報紙掲載、街頭啓発を行っている。

●(センター:具体的な実施事業について[資料2]) 各種事業は、第3次男女共同参画推進プランに基づき、地域、社会活動における男女共同参画推進、女性活躍推進など5項目の基本目標と基本施策に沿って、計画的に実施している。

令和4年度の主催講座、街頭啓発、展示等実績は、P10~14のとおり。センターが実施した講座は、計30講座、参加者はのべ887人であった。講座では託児も実施している。講演会の録画配信は再生回数が80回であった。相談事業では、法律相談70件、こころと生き方の相談のべ1,398件、女性支援相談のべ811件の相談があった。また、情報の収集・公開については、図書の貸し出しが764冊、DVD2本であった。

【質疑等】

○女性活躍推進について、現状、「女性が活躍できていない」という意識を持っているのか。

●女性が持っている能力をさらに発揮できるよう、講座などを開催している。例えば、起業支援セミナーでは、資金面で補助金の活用や商工会の仕組みなど、情報提供を行い、起業の入口での支援を行っている。

○セミナー後の起業件数はどうなっているか。

●参加者 19 人のうち、1 年後の調査(7 人回答)で、起業 1 人、セミナー時起業済 4 人、就職済 1 人、起業準備中 1 人という結果で、市の支援金活用も 2 件あった。調査では、セミナー受講後の前向きな姿がうかがえた。

○相談事業について、相談者の男女比はどうなっているか。

●こころと生き方の相談の R4 実績では、女性 461 人、男性 48 人(共に延べ人数)である。

○相談件数にコロナ禍による影響はあったか。相談件数は増えているのか。

●女性支援相談の件数はコロナ禍には増加傾向にあったが、徐々に落ち着いている。

○1 回の相談で問題解決は無理と思うが、専門機関への紹介、カウンセリングは実施しているか。

●カウンセリングは実施していない。必要に応じて、他機関との連携は行っている。

○相談で解決できていないから、何度も相談しているのではないか。

●抱える問題は様々で、「解決」したかどうかは当事者の判断によるところが大きい。相談者に寄り添い、自身の希望や考えを整理する手助けをすることも相談の役割と考えている。

○男性支援相談は実施しないのか。

●性別を理由に相談を断ることはない。各種調査結果では DV 被害者に女性が多く、「女性相談員による、女性支援相談」とすることで、女性が相談しやすくなると考えている。

○女性活躍はセミナーの開催だけでは十分な就労支援になっていないのではないか。

●昨年度はセミナー受講後に個別相談を実施し、個別具体的な支援にも取り組んでいる。

○共催講座は PTA にももっと働きかけ、拡大に取り組む必要がある。

●講師料は利用者の半額負担としていることもあって、利用は伸びていない。家庭教育学級説明会に参加するなど PTA への案内も行っている。

【審議結果】

令和 4 年度実施事業の報告については、承認とする。

(2) 令和5年度事業計画について(資料3・4)

今年度は、計 19 講座実施する予定。共催講座は 8 講座、就業支援のチャレンジ講座は 2 講座。重点事業としては、起業を目指す女性向けの基礎的なセミナー、男性の家事育児への参画促進のため父子料理講座を 2 回開催予定。共催講座については PTA を中心に働きかけ、事業の浸透を図る。また、講座受講機会の拡大のため、録画配信は継続して実施していく。

【質疑等】

○男性向けに、家事・育児に関するマインドセットへの気づきを得られるような講座を望む。

○講演会の配信はどのようなやり方なのか。

●データ作成は外部委託、YouTube で申込者限定、期間限定の配信を行う。

○来館できる人だけでなく、いろいろな人の参加を可能にする配信は続けてほしい。

○女性の起業支援、男性も参加可能か。

●センターは女性限定、商工会等で企業支援の講座を実施しており性別に関係なく参加可能

○計画の中にある市の所管課の事業を整理し、例えば、子育て支援の部署の事業等、実施状況報告の中で見せていくのでもいいのではないか。

○若い世代は育休取得等意識も変わってきている。依然、変わっていない 60 代以上男性への働きかけには工夫が必要である。

- 女性の社会進出に伴い、家族みんなで家事を負担していく必要がある。また、「子育ても家族みんなで協力して」ということで、今年度「今どきの子育て孫育て講座」を開講する。
- センターの講座についてもネット配信できないものか、自宅で受講できれば、来館が難しい人も利用可能になり、様々な世代の交流の場づくりも可能になっていくと思う。
- 配信講座も増やしていく。まずは録画配信から始めていく。ハイブリッドでの配信となると、もう少し時間がかかる

【審議結果】

令和5年度事業計画及び進捗状況報告については、承認とする

(3) 今後の男女共同参画推進センターの運営方針について(資料なし)

- 本日の議事の中で、講座について、多くのご意見をいただいた。情報コーナー、結工房についてもご意見ご要望をいただき、今後のセンター運営に活かしていきたい。

【要望等】

- 介護の講座、年配男性向け、若い世代向け、災害時の調理などこれからの講座検討の際、検討していただきたい。
- 情報コーナーが広く認知されていないと感じる。購入する図書について利用者の希望を募るなどして利用者拡大に取り組んでほしい。
- メイトムの屋外を利用したデイキャンプの講座などを実施してはどうか。男性や子どもの家事参画や災害時への備えにつながると思う。
- 地域には豊富な経験や知識を有する高齢者がたくさんいるので、そういった方々の力を活用した事業も検討してほしい。
- 子育て支援に関連して、性教育が遅れている。学校現場ではなかなか進まない状況もあるが、未就学の頃からの性教育は、とても大切。センターでも事業を検討してほしい。

【審議結果】

市及びセンターは、提出された意見を、今後の事業に活かしてほしい。

議事録署名人 宗像市男女共同参画推進センター運営委員会 委員

横山美栄子